

最新 最近の傾向は、登山道を外れての事故（道迷い）が多くなっています。廃道など荒れた道の通行は、落石や滑落の危険が高く、山岳遭難につながります。登山には、次のこと気につけましょう。登山の前は、自分が登る山の視界不良や体調不良のときは、早めに登山を中止しましょう。

安全な登山のために

ヘリは究極の救助手段
登山ブームで「高齢者」「山ガール」、「若者」の登山者が増えていました。県内の山岳地は、樹林帯が多く、谷が深いことが特徴です。夏山の時期は、樹木が生い茂り、上空からの発見が難しくなります。ヘリコプターでの救助は、気象の影響を受けやすく、危険が伴うため「究極の救助手段」といえます。

防災航空隊をもっと知りたいあなたへ**●埼玉県防災航空センターホームページ**

埼玉県防災航空センターでは、航空隊の概要・各種統計や災害出動した際の活動状況、各種訓練の実施状況などをホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

URL:<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/e05/>

**●夏休みイベント****「防災ヘリコプターあらかわの展示」**

日 時 8月18日(日)午前10時～11時
(天候不順及び緊急出動時は中止)

場 所 埼玉県防災学習センター(鴻巣市袋30)
問合せ 埼玉県防災学習センター

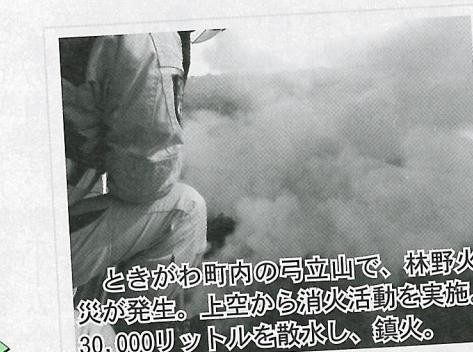
☎048-549-2313

※詳しくは、防災学習センター
ホームページをご覧ください。

URL:<http://www.bousai-gakusyu-saitama-h.t.jp/>

**●気軽に見学に来てください**

川島町は特別な場所です。なぜなら、普通なら遠い空を飛んでいるヘリコプターを近くで見ることができるからです。この場所から飛んで、この場所に帰ってくることを覚えていてほしいです。いつか、私たちを見た子どもたちが、同じような仕事をしたいと思ってもらえたなら嬉しいです。

隊員
澤田
智全さん**どんな事故が起こっているの？****緊急運航状況を紹介します****火災****防災航空隊としての抱負**

川島町の皆さんにお願い 心技体、さまざまなお色が合わさることで成し得る、人と人とのかけ橋でありたいです。

住民のかたには、騒音などのご迷惑をかけていますが、皆さんのおかげで、365日運航することができますが、皆さんのおかげからも見守ってください。

防災航空隊員にインタビュー●第5クルーの皆さん●

近年では、集中豪雨の多発により、河川の増水に伴う水遊びの機会が増えます。悲惨な結果にならないよう十分注意してください。

【川遊びのルール】

- 遊ぶ前は下見をし、遊んでいるときも天気や川の流れに注意しましょう。
- 水深がひざより上の場合は、ライフジャケットを着用しましょう。
- 川底は、ガラスの破片など危険なものがあります。紐のない、かかとのある靴を履きましょう。
- 雨が降り始めたり、雷が聞こえたりしたら、すぐに川から上がりましょう。
- 雨が降つても橋の下では雨宿りをしないでください。

水の事故にご注意を

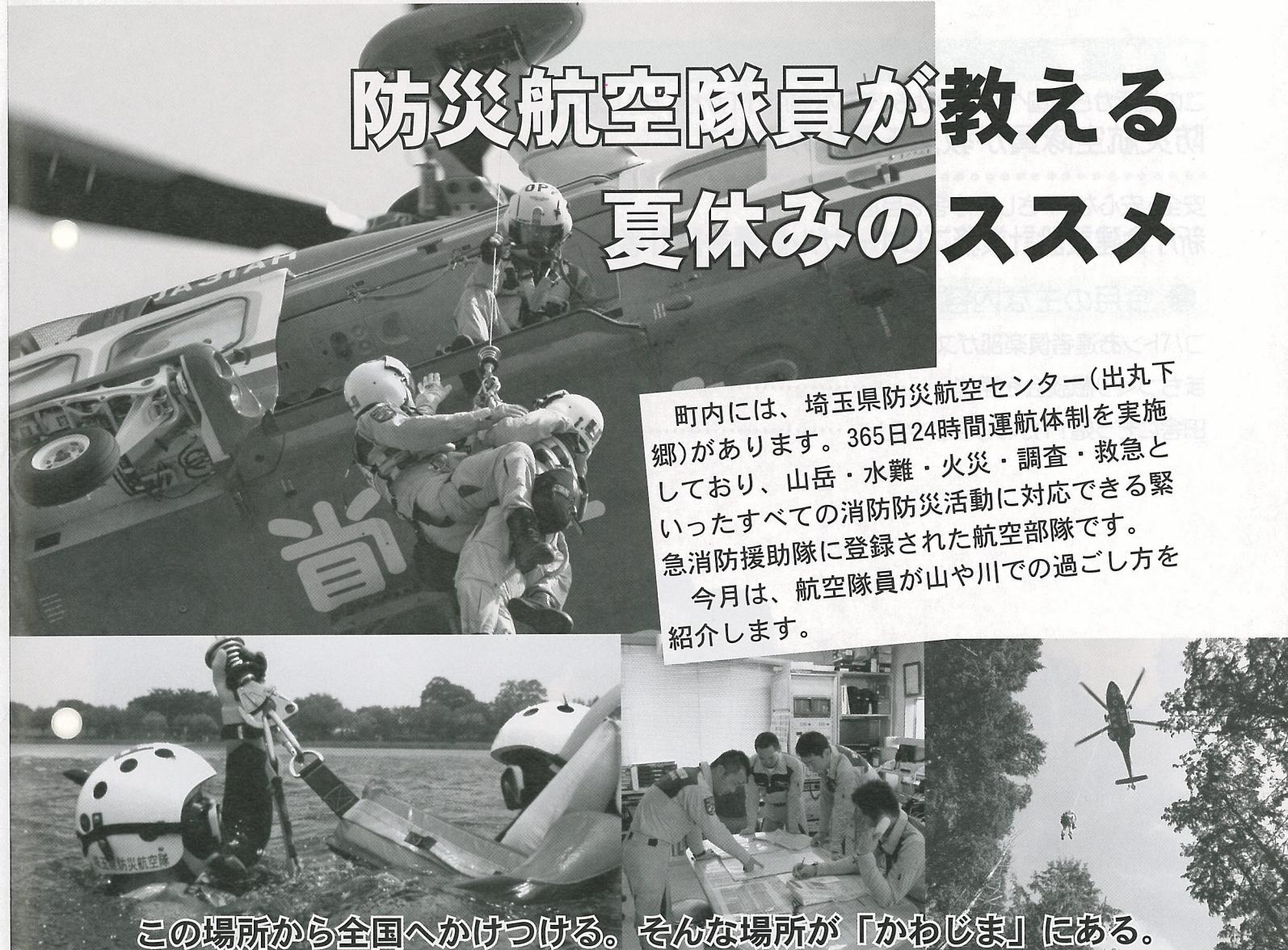
隊長補佐
齋藤秀生さん

近 年では、集中豪雨の多発により、河川の増水に伴う水遊びの機会が増えます。悲惨な結果にならないよう十分注意してください。

**防災航空隊員が教える
夏休みのススメ**

町内には、埼玉県防災航空センター(出丸下郷)があります。365日24時間運航体制を実施しており、山岳・水難・火災・調査・救急といったすべての消防防災活動に対応できる緊急消防援助隊に登録された航空部隊です。

今月は、航空隊員が山や川での過ごし方を紹介します。



この場所から全国へかけつける。そんな場所が「かわじま」にある。

ここがスゴイぞ！航空隊
365日24時間運航し、いつでも出動できる体制が整っています。全国でも限られた航空部隊です。
岩に接触しないよう、空中での救助は過酷でした。(3ページ掲載)

印象に残った救助
ロツククライミング中に起きた転落事故です。山や川へ行くには、無理のない計画をしてましょう。

防災航空隊を漢字一字で
地上部隊が行けない救助現場に、空から1分1秒でも速く行くことができる最後の砦です。

365日運航することができています。これからも見守ってください。